

緑豊かでゆとりと潤いのある快適な環境と美しい景観の創造をめざして



日造協ニュース

2014.8月号
通巻 第485号

Japan Landscape Contractors Association NEWS

発行：一般社団法人日本造園建設業協会 編集：広報活動部会 <http://www.jalc.or.jp>
〒113-0033 東京都文京区本郷3-15-2 本郷二村ビル4階 TEL:03-5684-0011 FAX:03-5684-0012

あいさつする藤巻司郎会長

全国事務局連絡会議開催 総支部・支部運営規程などを説明

日造協は7月24日(木)、東京都千代田区紀尾井町の都市計画協会会議室で、平成26年度全国事務局連絡会議を開催した。会議では本部からの依頼事項や情報提供についての説明、質疑応答のほか、総支部・支部の報告等の意見交換を行った。

全国事務局連絡会議は冒頭、藤巻司郎会長があいさつ。「去る6月25日の通常総会・臨時理事会で、引き続き2年間、会長を務めることとなりました。執行部の他の役員の皆さん共々、一層のご支援とご協力をよろしくお願ひいたします。私ども業界を取巻く環境は、この一年で大きく変化し、日造協として本部と各総支部・支部が力を結集し、長年にわたり取組んできた要望・提言活動が、一定の成果を得たものと受け止めております。今後の展望では、先の通常国会で、建設工事の適正な施工とその担い手の確保・育成を主眼においていた建設業法等が改正され、全国組織である日造協には、活動領域の拡大、経営・雇用環境の改善、施工面での安全・品質・技術の向上や人材育成などが、これまで以上に求められています。今後とも、要望・提言活動や社会保険等未加入対策等はもとより、業界が抱える経営上の諸課題や社会の新たな要請に対応した事業活動に取組み、緑豊か

な安全・安心・快適な環境の形成に寄与する社会的使命を果たしてまいりたいと思っております。皆様の更なるご理解とご協力を心からお願いする次第です」と述べた。

議事では、総支部・支部運営規程、表彰規程、入会申込書の提出後の手続き要領、会員情報変更届、社会保険等未加入対策実務説明会の開催、支部会計及び総会議案、日造協支部事務局サイトによる情報共有、火災保険特約サービス業務、要望提言活動、造園CPDのプログラム申請、日造協資格の研修会・講習会開催情報の公開、青島国際園芸博覧会視察、総支部・支部交流会の開催、建設ジュニアマスターの創設、日造協の年間スケジュールについて、説明及び質疑応答を行った。その後、総支部・支部からの報告等を行い閉会した。

また、17時からは、都市センターホテルで懇談会を開催。全国各地からの参加者が交流、意見を交わした。

平成26年度 国土交通大臣表彰 建設事業関係功労 日造協から4氏が受賞

国土交通省は7月8日、平成26年度の国土交通大臣表彰受賞者を発表した。建設事業関係功労の都市計画事業関係として、日造協からは4氏が、「多年造園工事業に精励するとともに関係団体の役員として業界の発展に寄与した」ことを表彰理由に、国土交通大臣表彰を受賞した。

表彰式は7月10日、東京都千代田区霞が関の国土交通省共用大会議室で行われ、今年度は221人、5団体が表彰された。

日造協関係の受賞者は以下の通り。

橋本純一氏 (63) つくば市、橋本造園土木(株)代表取締役

中村伸雄氏 (61) 茂原市、(株)生光園代表取締役

松村昭一氏 (63) 金沢市、(株)松村造園代表取締役

山本規仁氏 (62) 松浦市、(株)山本造園土木代表取締役

第41回 全国造園デザインコンクール 応募要項を公表

昭和49年に日造協が創設し、文部科学省、国土交通省、NHK、全国農業高等学校校長協会、(公社)日本造園学会のご後援で、(一社)ランドスケープコンサルタンツ協会、全国高等学校造園教育

研究協議会の共催で実施している「全国造園デザインコンクール」は今回で41回目を迎え、現代のニーズを踏まえ一部の課題を変更するなどし、新たな要項を作成、配布。日造協ホームページに掲載

本号の主な内容

- 2、3面 【各委員会委員一覧】平成26.2.7 年度 各委員会委員決まる各委員会 委員長の抱負
- 4面 【学会の目・眼・芽】小さなコケの大きな変化
(公社)日本造園学会編集委員会幹事・信州大学農学部 森林科学科 大石善隆
【ふるさと自慢】行くなら今、日本最長未舗装路「剣山スーパー林道」
手塚里香 (徳島県支部)
【緑滴】~素敵な出会い~ 石井 はるか (藤造園建設株)

日造協会員の方々への「日造協ニュース」は偶数月がPDF版の配信で、印刷物の発送は行っていません。会員の方々へのメールニュースへの添付、日造協ホームページに掲載をしていますので、ご活用ください。

樹林

日造協理事、(有)海邦造園 代表取締役

森根 清昭



沖縄の観光と造園業

沖縄県の観光客の推移を見てみると、昭和47年の日本復帰当時44万人だったのが、昭和50年の「沖縄国際海洋博覧会」開催時には156万人に増加し、平成20年には600万人を超えるまでになっています。

この間の造園建設業界はどうなっていたかというと、そもそも復帰時点までは造園建設業そのものが存在せず、「沖縄国際海洋博覧会」の会場建設をきっかけとして造園建設業が組織化され、各種観光施設の整備・リゾートホテルの建設・道路緑化整備の進捗に伴い発展し現在に至ったものです。このように、沖縄の造園建設業は、観光産業・観光客数の伸びとともに発展してきたといえると思います。初期の頃は、苗木の生産に用いる栽培鉢(ポット)もなく、アメリカ軍基地から廃棄された各種缶詰類の空き缶をゴミ捨て場で収集し、ポット代わりに使用したことでもあったと聞いています。

ところが最近の公共工事予算の削減に伴い造園工事量も減少しており、特に植栽維持管理予算は補助の対象にはならず自主財源での対応となるため、歩行者・通行車両に支障が出る状態までは雑草を伸ばし放題、街路樹剪定士の技能を発揮する機会を奪うぶつ切り剪定という状態が続いている。せっかくきれいに整備した植樹帯や植樹枠も、雑草が生えないように低木類を撤去し、高木の根元以外は雑草抑制材で覆うという改修工事が続いている。

リピート率が高く、レンタカーの利用が圧倒的に多いといわれている観光客の目に、現在の道路緑化景観はどう映るのでしょうか?

沖縄県は、県民の参画と協働のもとに、将来(概ね2030年)のあるべき沖縄の姿を描き、その実現に向けた取り組みの方向性と、県民や行政の役割などを明らかにする基本構想として「21世紀ビジョン」という長期構想を掲げています。この中で、県民の目指すべき将来像として次の5つをあげています。
①沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島、
②心豊かで、安全・安心に暮らせる島、
③希望と活力にあふれる豊かな島、
④世界に開かれた交流と共生の島、
⑤多様な能力を発揮し、未来を拓く島です。
①の詳細の中には、・多様な生物、亜熱帯の花や緑が島の美しさを引き立てる、自然に囲まれた沖縄。・沖縄らしい自然や風景を求めて観光客が訪れ、物心両面での豊かさをもたらしている沖縄。という項目があります。この「亜熱帯の花や緑が島の美しさを引き立て…」、「沖縄らしい自然や風景を求めて観光客が訪れる…」の実現には、我々造園業界の参加なくしては考えられません。

また、沖縄県では、平成33年度の達成目標として、観光収入1兆円、入域観光客数1,000万人をあげていますが、このためには空港等のハード面の整備とともに、訪れた観光客が喜び感動する景観づくり等のソフト面の充実が求められていると考えます。

観光業とともに誕生し発展してきた造園業の将来は、観光業のさらなる成長なくしてはあり得ませんので、今後もトロピカルな花が咲き乱れる非日常的な沖縄らしい空間・景観を創造していきたいと思います。

全国造園フェスティバル 10/11～10/13中心に開催へ

今年も「全国造園フェスティバル」を10月11日(土)～14日(火)(体育の日)を中心開催します(日程は各地のイベントに合わせ前後する場合があります)。

全国造園フェスティバルは、都市公園法施行50周年の記念事業としてスタートし、今年で9回目の開催となります。

全国各地の公園や広場で、造園に関する

さまざまな催しが行われ、テレビや新聞など、多くのマスメディアに取り上げられるなど、広く造園のPRにつながり、造園の素晴らしさ、技術、センスを地域の方々にアピールするチャンスにもなっています。

開催予定など、詳細については、日造協ホームページをご覧ください。

しました。

コンクールは、一般、大学生、高校生の3部門、A住宅庭園、B街区公園、C商業施設、D実習作品の4つの課題で募集。12月15日から平成27年1月14日まで作品を受け付けます。多数の応募をお待ちしています。

平成 26.27 年度 各委員会委員決まる

日造協の各委員会は、6月25日に行った通常総会及び第1回臨時理事会を踏まえ、正副会長、業務執行理事のもと、別表の通り決定しました。

日造協の委員会は、平成24年度の一般社団法人化に合わせて、その所掌事務や調査・検討事項を整理し、6委員会、1特別委員会で構成。各委員会には、適宜部会を設け、機動的な対応を図り、調査・検討を行っています。今回は、各委員長の就任にあたっての抱負とともにご紹介いたします。

※ 表の「○」は、新任及び新規事項

■総務委員会

委員長 林 輝幸



総務委員会は規程の13の所掌事項を6部会にて各部会長と部会委員の協力を得て調査、検討を行います。

造園の業種・職域の堅持、拡大を念頭に真摯に取り組んで参ります。皆様のご支援、ご協力を宜しくお願い致します。

正副委員長	委員	部会	部会長	部会委員	調査・検討事項
委員長 林 輝幸 副委員長 小栗勝郎(中部) 中西 勝(近畿) ○藤原隆典 鈴木誠司 水庭 博 ○森川昌紀 ○成家 岳 田丸敬三(理事)	高瀬勝彦(北海道) 土田一彦(東北) 齊藤陽一(関東) ○岸 省吾(北陸) ○内山 淳(中国) ○片岡成文(四国) 田中和紀(九州) 森根清昭(沖縄)	財政・運営部会	○藤原 隆典	齊藤 陽一 阪上清之介 ○佐藤 正幸 田丸 敬三 成家 岳 藤巻 慎司 ○北條 拓	総会運営 事業報告、事業計画案の立案 決算報告、収支予算の立案 ○情報共有・公開基準の立案
		財政基盤強化部会	○鈴木 誠司	井内 優 ○内山 剛敏 久保 和則 四宮 繁 下地 浩之 ○高須賀盛満 ○田丸 敬三	会員要件拡大策の立案 収益増強具体化策の立案 入会促進具体化策の立案 ○会員サービス向上策の立案
		経営環境改善部会	○水庭 博	有賀 光昭 鈴木 義人 ○高木 俊之 田澤 重幸 田丸 敬三	技術者データベース要望 国交省等からの調査対応策の立案 インターネットの企画立案 実態調査の企画・分析 ○マンション緑地管理標準契約書の立案
		社会保険未加入対策部会	○森川 昌紀	有賀 光昭 大場 淳一 佐藤 善一 ○高木 俊之 田口 正典	社会保険加入状況の調査 社会保険加入促進計画の点検・評価 ○法定福利費内訳明示「標準見積書」の点検・普及策の立案
		広報活動部会	○成家 岳	内山 剛敏 岡田 茂樹 田丸 敬三 ○中村 国雄 藤巻 慎司 水庭 博	広報パンフレットの企画立案 HPの運営企画 日造協ニュースの編集 図書出版計画の立案 メールニュースによる情報提供の立案
		総務企画部会	林 輝幸	鈴木 誠司 ○成家 岳 ○藤原 隆典 水庭 博 ○森川 昌紀	総務委員会の対応事項の検討 各地域からの検討事項収集

■技術委員会

委員長 卵之原 昇



今年度の、技術委員会の活動につきましては、①造園技術・技能の研究開発及び安全に関する業務、②自然及び生活環境の整備技術に関する業務、③造園工事の合理的な施工に関する調査研究などと、その他造園技術に関する業務を行ってまいりますので、宜しくお願いします。

正副委員長	委員	部会	部会長	部会委員	調査・検討事項
委員長 卵之原 昇 副委員長 ○石出慎一郎(東北) 永島昌和(沖縄) 松本 透 伊藤幸男 鈴木義人 中村秀樹 ○北 総一朗(理事) 顧問 立山富士彦	○熊谷雅人(北海道) 渡邊 進(関東) ○伊藤志朗(北陸) ○水谷春海(中部) ○佐野晋一(近畿) 坂本竜二(中国) ○菅 基裕(四国) 古賀 正(九州)	技術・技能部会	松本 透	○佐藤英介 立山富士彦 吉村知泰 渡邊 進	技術、技能の継承企画、資料作成 品質管理、工程管理、工事仕様書、歩掛の検討 技術者評価システムの検討 ○緑地育成工事仕様書、歩掛の検討
		技術情報・研修部会	伊藤幸男	大場淳一 坂元博明 中村良孝 ○中嶋和敏	造園技術フォーラムの開催企画 情報発信・共有化(街路樹評価、土壤サンプル)の企画立案 技術・技能研修の企画立案 技術書籍普及の企画立案
		技能五輪部会	卯之原 昇	○柳原 亘 松田武彦 松本 透 八木澤清隆	全国技能五輪大会運営参加
		安全部会	鈴木義人	内田卓弘 生方幸寿 高田和己 ○山口雄資	造園工事、管理の安全衛生管理ガイドライン企画、作成 事故発生状況の情報収集とまとめ ○造園工事特有の労働災害防止ガイドラインの作成、啓発ツールの定期的更新
		調査・開発部会	中村秀樹	立山富士彦 内田卓弘 ○石井匡志	造園新技術の情報収集 新たな造園技術、LID技術指針の企画検討 他団体との技術意見交換
		技術企画部会	卯之原 昇	伊藤幸男 鈴木義人 中村秀樹 松本 透	技術委員会の対応事項の検討 各地域からの検討事項収集

■事業委員会

委員長 正本 大

事業委員会では、全国造園デザインコンクール、造園フェスティバル、地域リーダーズなどの広報、人材育成分野の事業を担当しております。

地方より出向となりますが、皆様のサポートを頂戴しながら、活力あるものにしていきたいと思います。

どうぞ宜しくお願ひします。



正副委員長	委員	部会	部会長	部会委員	調査・検討事項
委員長 ○正本 大	○諸井 道雄 (東北) 山崎 信幸 (関東) ○丸山 昌紀 (北陸) 内山 晴芳 (中部) ○大原 優 (近畿) ○藤本 篤靖 (中国) 鶴田 忠詞 (九州) 永島 昌和 (沖縄)	造園フェスティバル推進部会 人材育成部会 要望・提言活動部会 事業企画部会	○内山 剛敏 風間 啓秀 鈴木 一彦 ○正本 大	岡田 茂樹 ○坂井 丈浩 丸 健一 丸山 賢史 室橋 智 ○佐藤 英介 堤 明伸 森川 昌紀 山崎 信幸 ○山田 通明 荻野 淳司 ○坂井 丈浩 佐々木創太 ○関根 武 武井 大佐 藤巻 慎司 ○内山 剛敏 風間 啓秀 鈴木 一彦	全国造園フェスティバル企画立案 マスコミへの情報発信策の立案 ○魅力ある産業のアピール活動の企画立案 全国造園デザインコンクール実施計画の立案 地域リーダーズ活動支援 造園CPD単位取得促進企画 経営者研修会企画 ○本部・総支部・支部実施の資格試験・研修会・講演会開催情報の共有化推進企画 国交省、環境省本省との意見交換会の開催企画 総支部・支部実施の地方整備局、地方環境事務所等への要望活動へのサポート企画 要望・提言活動の情報共有化推進企画 ○維持管理に関わる工事・業務の経営事項審査上の取扱いの改善要望案の立案 事業委員会の対応事項の検討 各地域からの検討事項収集 表彰者の推薦 優良造園工事の推薦 緑化推進都市の推薦 その他事業関連事項

■国際委員会

委員長 和田新也

本年度国際委員会は新たにメンバーを増員し、AIPH活動を通じての国際園芸博覧会への関与、海外の造園関係団体との情報交換、海外からの問合せへの対応、海外造園事情の調査、海外展開への動向調査など海外と会員各社を結び付けるパイプ役となれるよう、更に頑張ってまいります。



正副委員長	委員	調査・検討事項
委員長 和田 新也	石渡 浩 伊藤 幸男 ○栗山 茂 関根 武 田丸 敬三 ○當内 匡 松村 一 ○山田 拓広	海外造園関連団体との交流企画 AIPH活動・Green City活動 IFPRA、IFLA活動との連携企画 海外プロジェクト情報の収集・情報発信 海外視察プログラムの企画 ○世界各国の街路樹の育成技術等情報の収集
副委員長 松本 朗 藤田 良司		

■資格制度委員会

委員長 望月勝保

設置されて3年目を迎えた当委員会では、国家資格の「造園施工管理技士」の育成と、公的資格である「登録造園基幹技能者」、当協会認定の「街路樹剪定士」「植栽基盤診断士」制度の運営、更に造園CPD協議会への対応検討等、会員の皆様の声を反映すべく検討する委員会です。また新たに公園緑地樹木育成に関する制度等の企画立案も検討しているところです。資格制度のさらなる普及・改善・運営の効率化に向け、皆様のご意見をお待ちしております。



正副委員長	委員	調査・検討事項
委員長 望月 勝保	大場 淳一 風間 啓秀 ○鈴木 義人 中村 秀樹 松本 透 ○水庭 博	有資格者目標計画の立案 次年度の実施計画の立案 造園施工管理技術検定受験対策講習会 街路樹剪定士、植栽基盤診断士制度の運営 登録造園基幹技能者講習の運営 造園CPD協議会への対応検討 制度の普及策、改善策、運営効率化策の立案 ○公園緑地樹木育成に関する新規制度等の企画立案 ○緑地の点検・診断等の資格制度の検討
副委員長 高石 正弘 吉村 長泰 ○田澤 重幸 (理事)		

■アクションプログラム推進等特別委員会

委員長 和田新也

当委員会では日造協ビジョンの理念に則り、造園界ひいては会員企業の「将来」及び「現在」に資する具体的な日造協活動について議論を重ねてまいりました。今期は、地域リーダーズなどから次世代へ向けた幅広い意見を取り入れながら、女性技術者の活用を皮切りに取り組みを進めてまいります。



正副委員長	委員	調査・検討事項
委員長 和田 新也	○井内 優 奥本 寛 久郷 憲治 田丸 敬三 寺崎 俊司 土志田 淳 ○持田 正樹 山田 康博 須磨佳津江 (顧問) 涌井 史郎 (顧問)	日造協活動の成果・実績評価 今後の造園界の将来構想の企画 戦略的活動展開方向の立案 (○「名わき役みどりプロジェクト」、地域活性化を図る「おもてなし緑環境プロジェクト」の立案を含む) ○特別部会による女性の就業環境改善策等の立案 ○担い手確保・育成行動計画の立案
副委員長 大場 啓壽 関根 武 久保 和男 (理事)		

■倫理委員会

正副委員長	委員
委員長 ○有路 信	大八木勝彦 ○阿部 宗広 ○西岸 芳雄

学会の目・眼・芽 第59回

小さなコケの大きな変化

(公社)日本造園学会学会賞委員会幹事・信州大学農学部 森林科学科
大石 善隆

私の研究のキーワードは、ずばりコケである。コケと聞いて「あまり自分とは関係ないかな」と思われる方も多いだろう。しかし、これまでコケになじみがなくとも、ひょっとしたら、明日にでもコケとの接点ができるかもしれない。というのも、近年、コケをとりまく社会環境は大きく変わっているためだ。

これまで「コケ」というと、じめじめとした所に生える、なんだか陰気な植物、というネガティブな印象をもたれがちであった。だが、最近は従来の印象とはガラリと変わり、「かわいい」「おしゃれなインテリア」「和の情緒」など、コケが好意的に受け入れられるようになってきた。このきっかけの一つは、やはり「苔玉」だろう。苔玉の普及によって、これまでシニアの世界だったコケが若者にまで浸透したようだ。苔玉をみて「コケもなかなかいいな」と思った方も多いのではないだろうか。

コケの広がりは「苔玉」にとどまらない。なんとコケがビルの屋上や壁面への緑化資材として用いられるはじめたのである。これは一体どうしたことだろう? 何もコケの品種改良が進み、乾燥に強い品種ができたわけではない。実はコケはもともと乾燥にも強かったのだ。木や草と違い、コケは根ではなく、葉の表面などから直接、水や栄養分を吸収する。その主な水分供給源は雨や朝露などだが、いつも雨や朝露があるわけではなく、ときには1週間以上も水分の供給がないことすらある。そうはいっても、小さなコケが大量の水を蓄えられるわけでもない。こうし



スギゴケ



ホソバオキナゴケ

た状況に対応すべく、コケは乾燥したときは仮死状態のようになって次の雨まで耐え忍ぶ「乾燥しても枯れない」という特殊な能力を身に付けた。こうしたコケの生態や「生育に土がいらない」という便利さから、緑化資材としての「コケ」にもスポットライトが当たり始めている。

さらに、コケの裾野が広がるにつれて、コケそのものに愛着を感じる人も増えてきた。今では、コケを愛する女性を指す「コケガール」という言葉もでき、各地でコケ観察会が行われるようになっている。遠巻きにコケをみると、その纖細な美しさに驚く。こうした目立たないコケの魅力が少しずつ広がりつつあるのだろう。

ざっと駆け足でコケをとりまく社会環境の変化をみてきた。この20年くらいでここまで印象が変わった生物も珍しいかもしれない。次はどのような変化が起こるのだろう? さらなるコケの活躍を期待するところ。



素敵な出会い

藤井
はるか

期待するのは難しいのです。貴重な通勤時間での出会いを捨てて始めた独り暮らしは私にとって吉と



昆虫観察会の模様



夏の花ミソハギ



でるか凶とでるか、大吉といかないまでも小吉でもいいので「吉」方面に向かってほしいものです。現在の業務である指定管理も、業務体制や私個人の生活環境も変化しました。新しい環境には期待と不安が入り交じりますが公私ともに、より充実したものになるよう期待し、また私自身も努力したいと思います。私は今日も公園に向かいます。

素敵な出会いを期待しながら…



剣山スーパー林道の秋の紅葉（上）、大釜の滝（右）、ライダーにも人気の眺めの良い「徳島のへそ」（下）



は「これって鹿？」な美味しいです。

このような自然の残る徳島県の日本一の林道へ挑戦してジビエ料理を堪能してみてはいかがでしょうか。



四季美谷温泉

手塚里香（徳島県支部）

人気の
ame goso寿司定食
「小釜」ボリューム一杯
の鹿肉三昧定食
「大轟」

問題の作成・採点基準の設定を行った（7/8）。

●植栽基盤診断士認定委員会
診断士学科試験問題の出題基準および試験問題・採点基準の審議・承認を行った（7/16）

●国際委員会
今年度の事業計画等について検討した（7/31）

編集後記 今月の広報活動部会は気温36℃の猛暑日に新部会委員にて開催しました。気温も会議もとてもアツかったです。今後ともご指導、ご支援をよろしくお願い申上げます。

ふるさと自慢 徳島県
行くなら今、日本最長未舗装路
【剣山スーパー林道】

事務局の動き

[7月]

- 4(金)・総務委員会（広報活動部会）
- 8(火)・植栽基盤診断士認定委員会（試験部会）
- 16(木)・植栽基盤診断士認定委員会
- 24(木)・全国事務局連絡会議
- 30(水)・国交省と建専連との意見交換会
- 31(木)・技術委員会（技術企画部会）

[8月]

- 1(金)・国際委員会
- ・技術委員会（調査・開発部会）
- 5(火)・総務委員会（広報活動部会）
- 6(水)・技術委員会（技能五輪部会）
- ・日本造園建設業厚生年金基金理事会・代議員会議
- 7(木)・運営会議
- 8(金)・事業委員会
- ・事業委員会（事業企画部会）

委員会等の活動

- 総務委員会（広報活動部会）
日造協ニュース7～9月号について審議した（7/4）
- 技術委員会（技術企画部会）
今年度事業計画と進捗状況について検討（7/31）
- 植栽基盤診断士認定委員会（試験部会）
診断士学科試験問題の出題基準の設定および試験

法定福利費の内訳を明示した標準見積書の活用により、法定福利費の確保を図りましょう！